

## 第2章

### 高齢者を取り巻く現状と課題



## 第2章 高齢者を取り巻く現状と課題

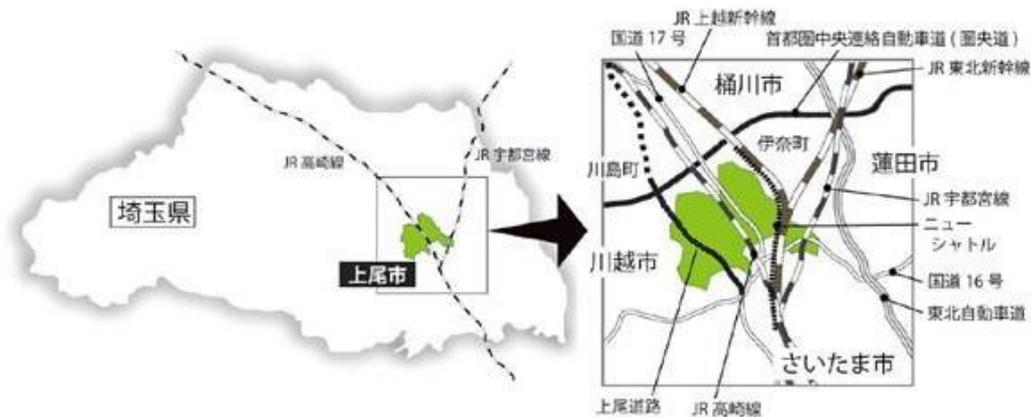
### 1 上尾市の概況

#### (1) 地理特性

本市は、埼玉県南東部に位置しており、北は桶川市、東は伊奈町と蓮田市、南はさいたま市、西は川越市と川島町に面しています。

昭和33（1958）年に市制へ移行し、令和5年（2023）年に市制施行65周年を迎えました。本市の面積は45.51km<sup>2</sup>、人口は23万164人（令和5年10月1日現在）となっています。

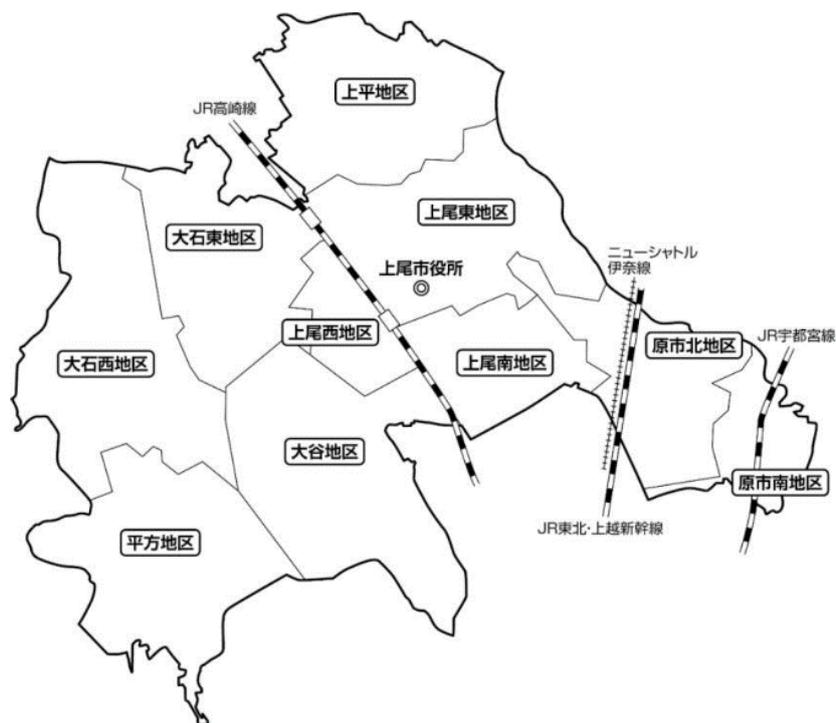
本市の地形はおおむね平坦であり、市民の移動や、通勤通学・商用等の交通面においては障害の少ない地形となっています。なお、交通網としては、JR高崎線、埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）の駅があり、都心からの通勤圏内として、交通利便性の高い地域となっています。



## (2) 日常生活圏域の設定及び状況

日常生活圏域とは、高齢者が住み慣れた地域で生活するためのサービスを整備する基準として、市全体を複数の区域に分けたものです。各圏域には、地域における総合相談の実施、介護予防の推進、包括的・継続的マネジメントの支援を担う中核機関である「地域包括支援センター」を中心に地域密着型サービス等を整備する必要があります。

日常生活圏域の設定方法は、地理的条件や人口規模、交通事情、介護保険施設の整備状況等の諸条件を勘案して決定します。本市では、10の日常生活圏域を設定しており、各圏域の地域包括支援センターの所在地や高齢者人口等の状況は次のとおりです。



### ①上尾東地区

地域包括支援センター	担当地域
上尾東地域包括支援センター 平塚 2141(しのめ内)	緑丘、上町、本町、原新町、上尾宿、上尾村、 二ツ宮、平塚

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	4,026	3,730	認定者数	(人)	1,359	1,519
後期高齢者	(人)	4,470	4,927	認定率	(%)	16.0	17.5
計	(人)	8,496	8,657	軽度認定率	(%)	10.4	11.5
高齢化率	(%)	25.1	25.2	重度認定率	(%)	5.6	6.0

資料：高齢者人口は住民基本台帳(各年9月末日時点)  
認定者数は介護保険事業状況報告(各年9月末日時点)  
※以下、同様

②上尾西地区

地域包括支援センター	担当地域
上尾西地域包括支援センター 柏座 1-10-3-15-101(上尾中央総合病院付近)	春日、柏座、谷津、富士見

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,487	2,465	認定者数	(人)	741	870
後期高齢者	(人)	2,479	2,690	認定率	(%)	14.9	16.9
計	(人)	4,966	5,155	軽度認定率	(%)	10.3	11.7
高齢化率	(%)	27.1	28.2	重度認定率	(%)	4.7	5.1

③上尾南地区

地域包括支援センター	担当地域
上尾南地域包括支援センター 仲町 1-8-32(藤村病院隣接)	宮本町、仲町、愛宕、栄町、日の出、東町、上尾下

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,301	2,162	認定者数	(人)	711	804
後期高齢者	(人)	2,264	2,494	認定率	(%)	15.6	17.3
計	(人)	4,565	4,656	軽度認定率	(%)	11.6	11.8
高齢化率	(%)	22.1	21.9	重度認定率	(%)	4.0	5.5

④平方地区

地域包括支援センター	担当地域
平方地域包括支援センター 上野 567(あけぼの内)	平方、上野、平方領々家、上野本郷、西貝塚、西上尾第二団地

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,306	1,903	認定者数	(人)	959	1,091
後期高齢者	(人)	2,942	3,252	認定率	(%)	18.3	19.9
計	(人)	5,248	5,155	軽度認定率	(%)	10.8	12.2
高齢化率	(%)	40.5	41.2	重度認定率	(%)	7.5	7.8

⑤原市南地区

地域包括支援センター	担当地域
原市南地域包括支援センター 瓦葺 2143-2(葺きの里内)	原市の一部(七区、八区)、瓦葺、尾山台団地

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,708	2,447	認定者数	(人)	784	861
後期高齢者	(人)	2,651	3,024	認定率	(%)	14.6	22.7
計	(人)	5,359	5,471	軽度認定率	(%)	9.7	15.5
高齢化率	(%)	27.4	27.8	重度認定率	(%)	4.9	7.3

⑥原市北地区

地域包括支援センター	担当地域
原市北地域包括支援センター 原市 3221-4 1階B号(原市団地北側)	原市の一部(七区、八区を除く)、五番町、 原市中、原市北、原市団地

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,632	2,329	認定者数	(人)	764	902
後期高齢者	(人)	2,959	3,223	認定率	(%)	13.7	12.5
計	(人)	5,591	5,552	軽度認定率	(%)	9.2	8.6
高齢化率	(%)	29.4	29.5	重度認定率	(%)	4.5	3.8

⑦大石東地区

地域包括支援センター	担当地域
大石東地域包括支援センター 浅間台 2-17-1(パストーン浅間台内)	中妻、浅間台、弁財、井戸木、泉台、 小泉、今泉の一部(三井住宅)

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	4,004	3,654	認定者数	(人)	1,225	1,458
後期高齢者	(人)	4,238	4,785	認定率	(%)	14.9	17.3
計	(人)	8,242	8,439	軽度認定率	(%)	10.3	12.0
高齢化率	(%)	24.7	25.0	重度認定率	(%)	4.6	5.3

## ⑧大石西地区

地域包括支援センター	担当地域
大石西地域包括支援センター 藤波 3-265-1(エルサ上尾内)	中分、藤波、小敷谷(西上尾第二団地を除く)、畔吉、領家、今泉の一部(三井サニータウン)、西上尾第一団地

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	2,844	2,412	認定者数	(人)	971	1,117
後期高齢者	(人)	3,467	3,812	認定率	(%)	15.4	17.9
計	(人)	6,311	6,224	軽度認定率	(%)	11.2	12.7
高齢化率	(%)	36.9	37.4	重度認定率	(%)	4.2	5.3

## ⑨上平地区

地域包括支援センター	担当地域
上平地域包括支援センター 西門前 727-3(あげお愛友の里付近)	上、久保、西門前、南、菅谷、須ヶ谷、錦町、上平中央

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	3,129	2,736	認定者数	(人)	950	1,113
後期高齢者	(人)	3,473	3,805	認定率	(%)	14.4	17.9
計	(人)	6,602	6,541	軽度認定率	(%)	9.8	12.4
高齢化率	(%)	28.6	28.8	重度認定率	(%)	4.6	5.5

## ⑩大谷地区

地域包括支援センター	担当地域
大谷地域包括支援センター 地頭方 420-8(上尾中央第二病院付近)	地頭方、壺丁目、壺丁目東、壺丁目西、壺丁目南、壺丁目北、今泉(三井住宅、三井サニータウンを除く)、向山、大谷本郷、堤崎、中新井、戸崎、川、西宮下

高齢者人口		令和2年	令和5年	区分		令和2年	令和5年
前期高齢者	(人)	3,809	3,377	認定者数	(人)	992	1,156
後期高齢者	(人)	3,730	4,319	認定率	(%)	13.2	15.0
計	(人)	7,539	7,696	軽度認定率	(%)	8.8	9.8
高齢化率	(%)	24.1	24.0	重度認定率	(%)	4.4	5.2

## 2 上尾市の高齢者を取り巻く現状と見通し

### (1) 人口の推移

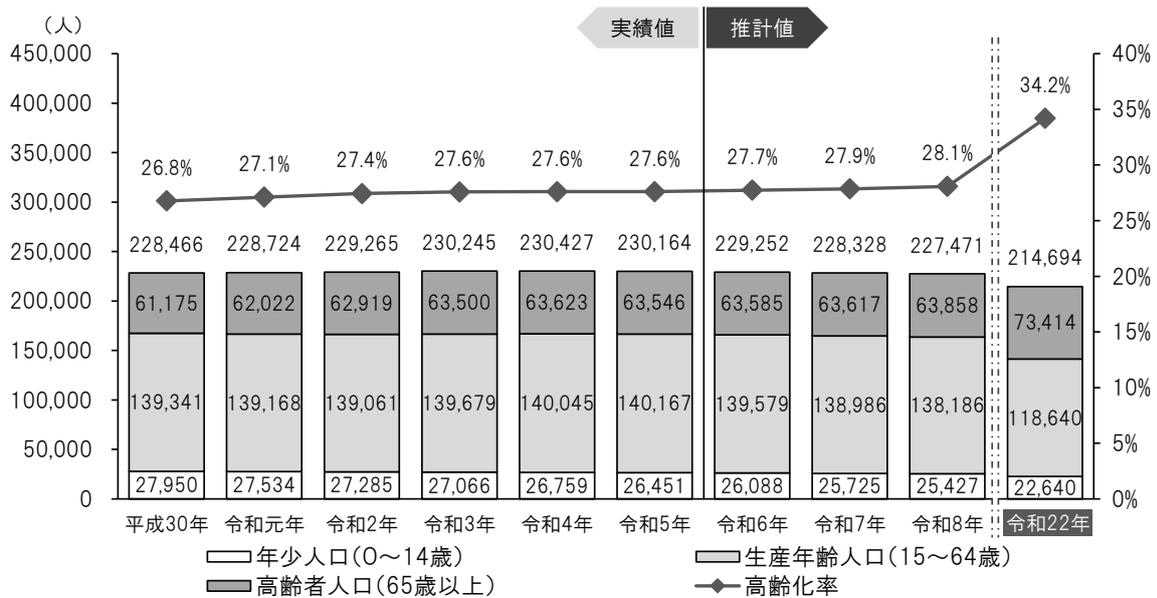
#### ① 総人口と年齢3区分別人口

本市の総人口は、令和4（2022）年の23万427人をピークに減少傾向に転じており、令和5（2023）年は23万164人となっています。今後も緩やかに減少することが見込まれます。

また、生産年齢人口も同様に、令和5（2023）年の14万167人をピークに、今後緩やかに減少することが見込まれます。

一方で、これまで増加傾向で推移してきた高齢者人口は、令和5（2023）年に6万3,546人と令和4（2022）年の6万3,623人より減少していますが、今後はまた増加に転じることが見込まれます。

#### ■ 年齢3区分別人口の推移と推計



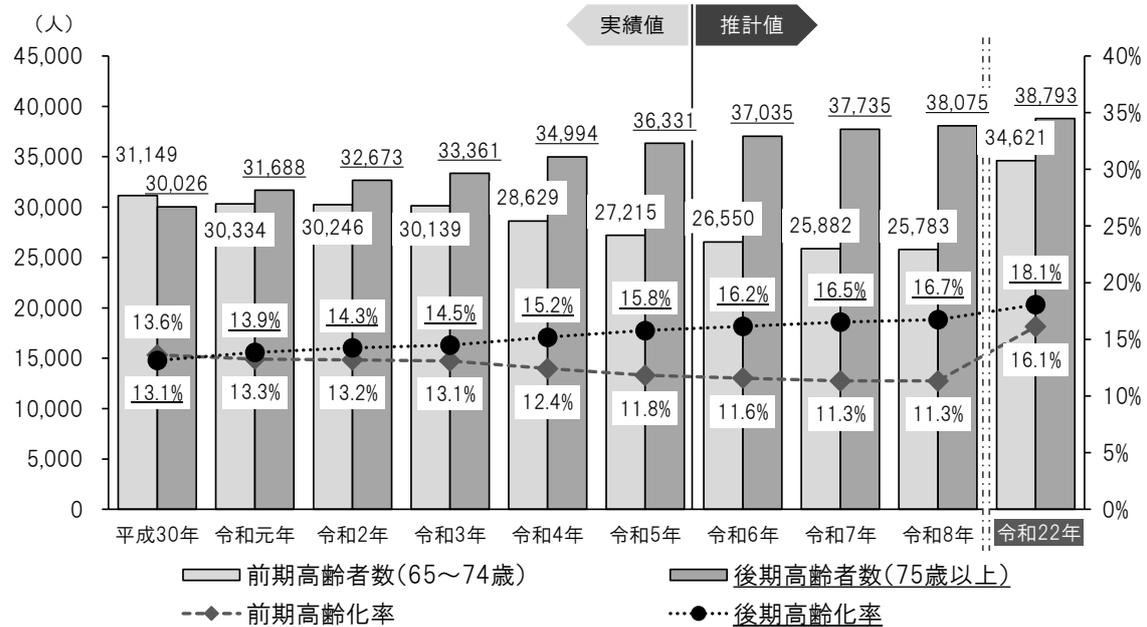
資料：実績は住民基本台帳（各年9月末日時点）、推計は住民基本台帳を基にコーホート変化率法で算出

## ②高齢者人口と高齢化率

本市の高齢者人口の内訳をみると、前期高齢者（65～74歳）は減少傾向で推移し、令和5（2023）年に2万7,215人となっています。一方で、後期高齢者（75歳以上）は増加傾向で推移し、令和5（2023）年に3万6,331人となっています。

令和22（2040）年まで後期高齢者は増加傾向となっていることに加え、前期高齢者もその間に増加傾向に転じることが見込まれます。

### ■前期高齢者・後期高齢者の推移と推計

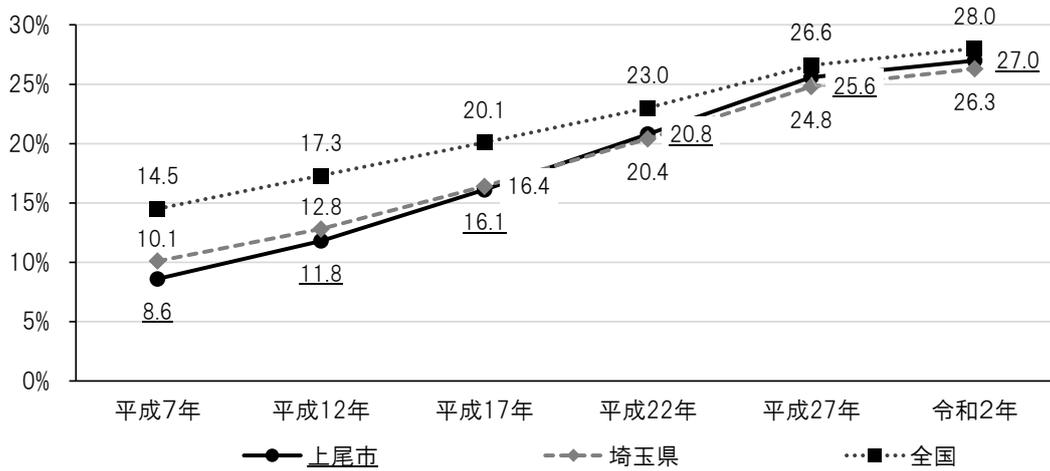


資料：実績は住民基本台帳（各年9月末日時点）、推計は住民基本台帳を基にコホート変化率法で算出

### ③全国・埼玉県・上尾市の高齢化率の推移

全国・埼玉県・上尾市の高齢化率の推移をみると、令和2（2020）年では、上尾市の高齢化率は27.0%となっており、全国より低く、埼玉県より高くなっています。平成7（1995）年と比べると、18.4ポイント増加しています。

#### ■全国・埼玉県・上尾市の高齢化率の推移



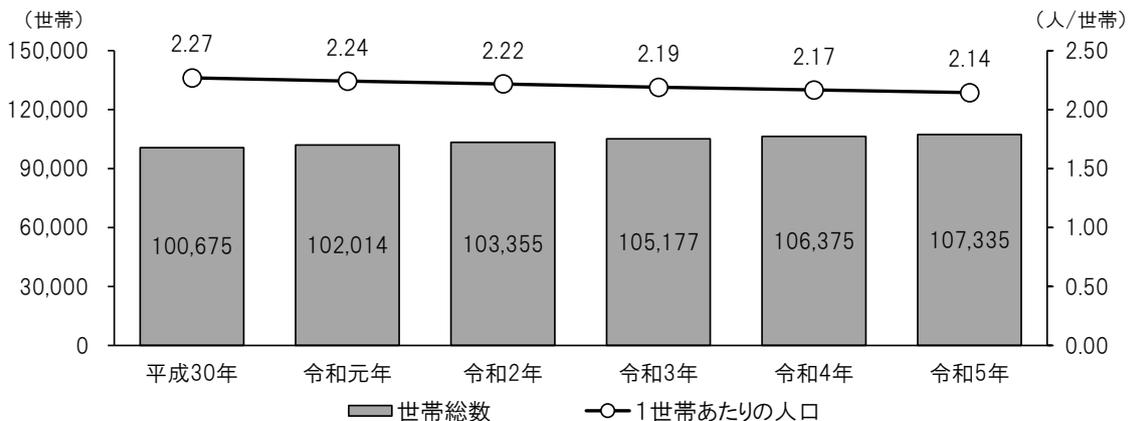
資料：国勢調査

## (2) 世帯数の推移

### ①世帯数

本市の世帯数は増加しており、令和5（2023）年で10万7,335世帯となっています。また、1世帯あたりの世帯構成員は年々減少しており、令和5（2023）年では2.14人となっています。

#### ■世帯数と1世帯あたりの世帯構成員の推移



資料：住民基本台帳(各年9月末日時点)

### ②世帯構造

一般世帯に占める世帯構成の推移をみると、単身世帯の割合が増加しており、令和2（2020）年は平成22（2010）年に比べ、6.4ポイント増加しています。

#### ■一般世帯に占める世帯構成の推移

単位：実数（世帯）、構成比（%）

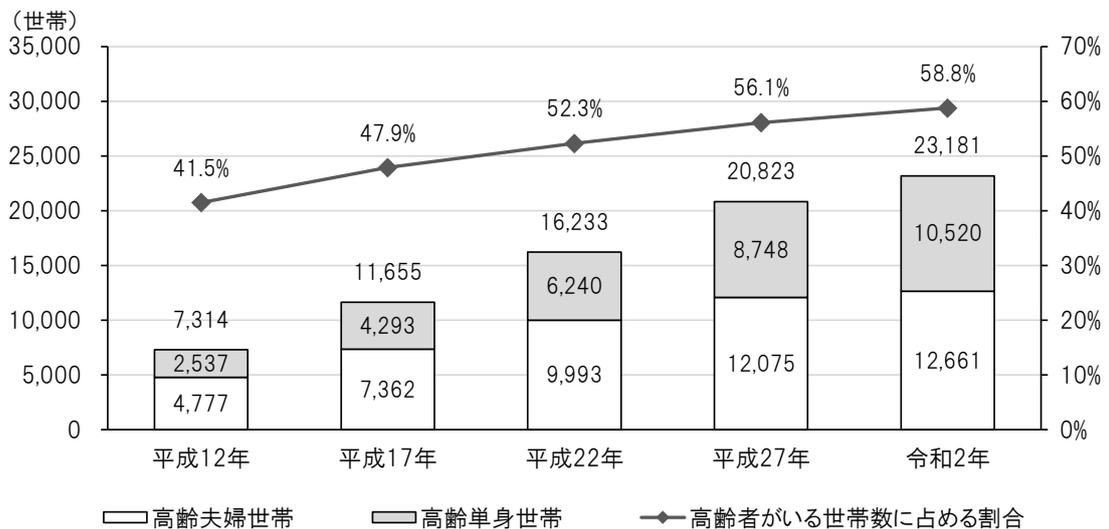
区 分	平成 22 年		平成 27 年		令和2年	
	世帯	割合	世帯	割合	世帯	割合
親族のみの世帯	64,742	74.3	64,888	71.0	63,027	65.4
核家族世帯	58,716	—	59,618	—	58,454	—
非親族を含む世帯	865	1.0	748	0.8	889	0.9
単身世帯	21,467	24.6	25,453	27.9	29,866	31.0
計（一般世帯）	87,137	100.0	91,330	100.0	96,347	100.0

資料：国勢調査

### ③高齢者世帯と世帯構造

高齢者のいる世帯割合と高齢夫婦世帯・単身世帯の推移をみると、令和2（2020）年では、高齢者のいる世帯のうち、58.8%が高齢夫婦世帯・単身世帯となっており、平成12（2000）年に比べ、高齢夫婦世帯・単身世帯数は約3.2倍となっています。

#### ■高齢者世帯数等の推移（単身、夫婦のみ、高齢者がいる世帯数に占める割合）



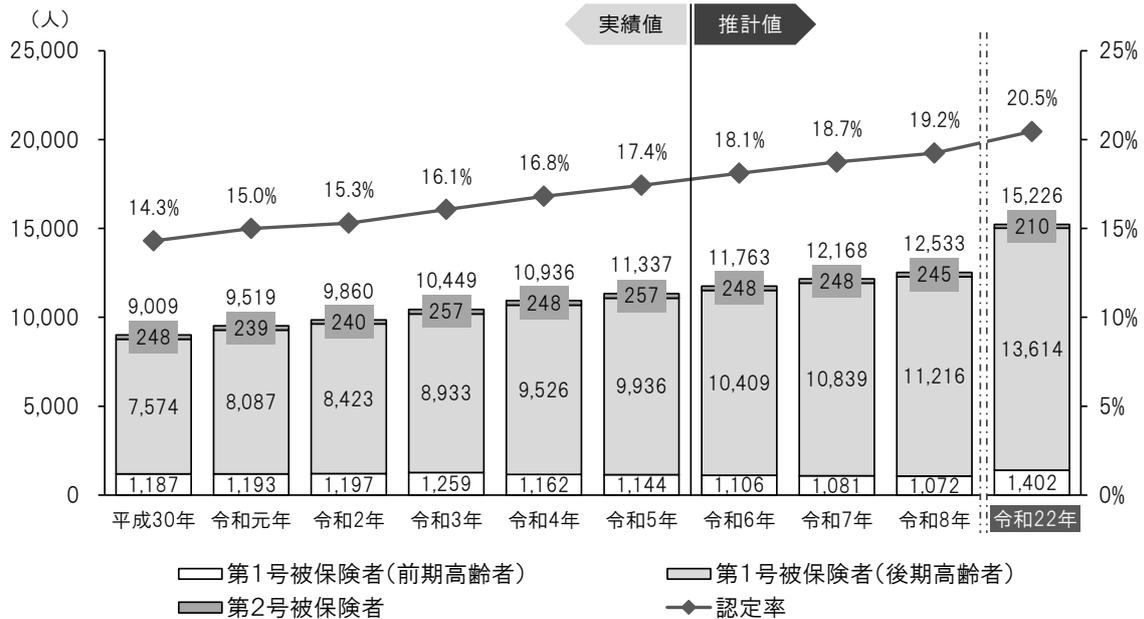
資料：国勢調査

### (3) 要介護（支援）者の推移

#### ①被保険者別の認定者数と認定率の推移

要介護（支援）者数（被保険者別）と認定率（第1号被保険者）の推移をみると、認定率は増加傾向にあり、令和5（2023）年で17.4%となっています。今後も、認定率は年々増加していく見込みです。

■要介護（支援）者数（被保険者別）と認定率の推移と推計

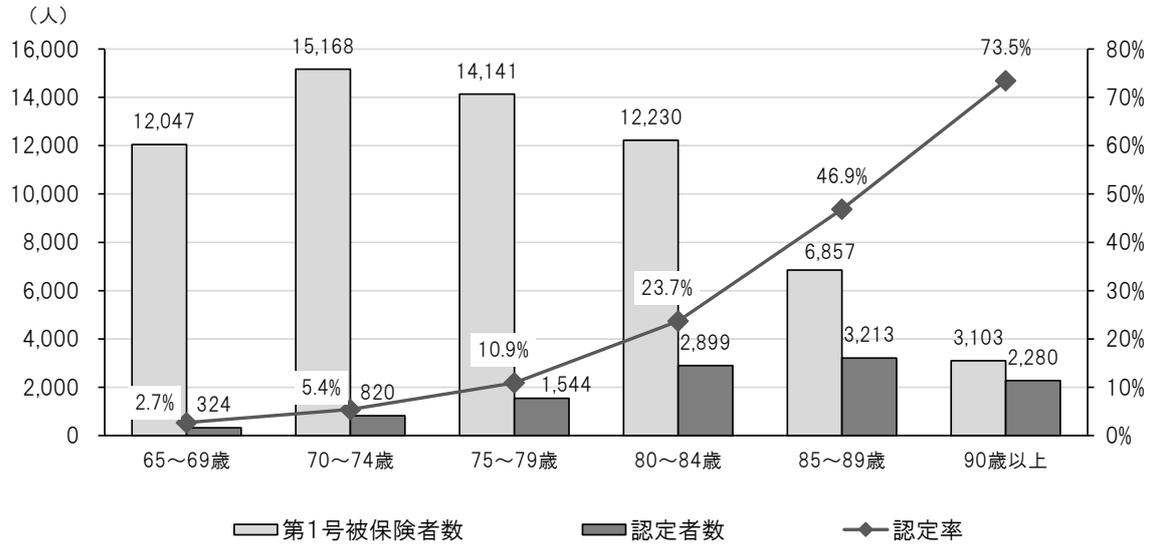


資料：介護保険事業状況報告（各年9月末日時点）、推計は過去の実績に加え総合事業及び予防給付の実施状況や、地域医療構想における介護サービス需要の増加等を勘案しています。

※認定率は、第1号被保険者のうち要支援・要介護認定を受けている比率となっています。

要支援・要介護認定率は年齢を重ねるほど高くなり、70～74歳では、5.4%ですが、75～79歳では10.9%、80～84歳では23.7%、85～89歳では46.9%と大きく上昇していきます。

■年齢階級別の認定率（令和5年度）

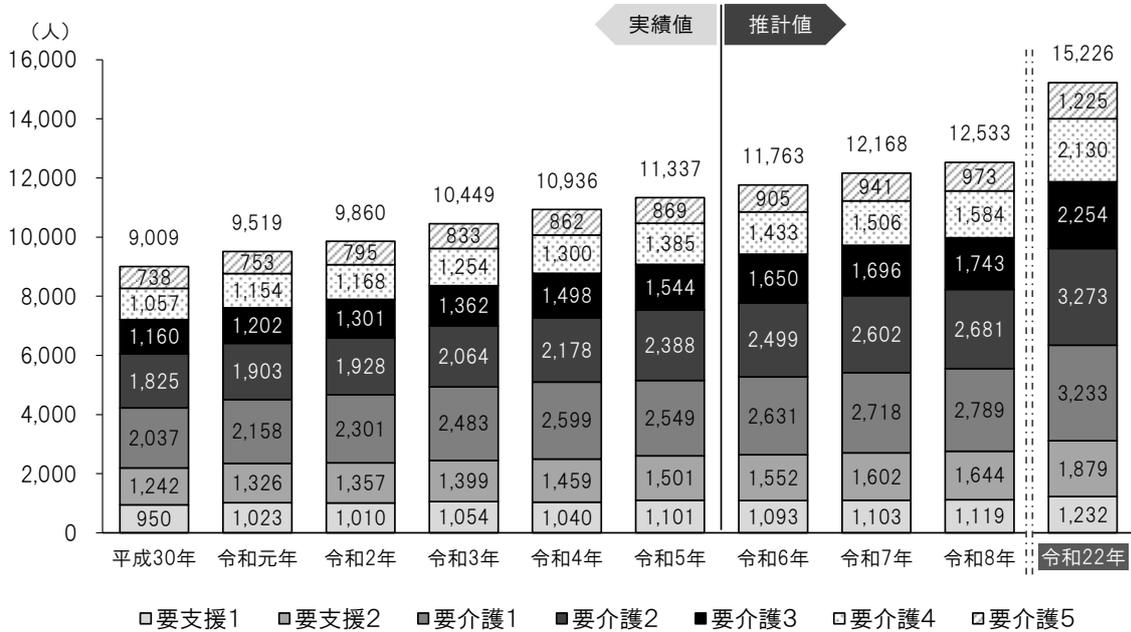


資料：第1号被保険者数は住民基本台帳（令和5年9月末日時点）  
 認定者数は介護保険事業状況報告（令和5年9月末日時点）

②要介護度別の認定者数の推移

本市の要介護(支援)者数は年々増加しており、令和5(2023)年に1万1,337人となっています。今後も、要介護(支援)者数は年々増加していく見込みです。

■要介護(支援)者数の推移と推計



資料:介護保険事業状況報告(各年9月末日時点)

■性別・世代別・要介護度別の認定者数(令和5年度)

(単位:人)

性別	世代別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男性	64歳以下	15	22	24	32	19	11	17
	65~69歳	10	18	39	53	16	26	5
	70~74歳	40	44	69	82	54	48	26
	75~79歳	46	74	132	136	75	53	39
	80~84歳	112	123	256	202	158	113	64
	85~89歳	103	129	280	228	147	110	48
	90歳以上	45	71	143	130	85	83	30
女性	64歳以下	6	15	18	29	17	15	17
	65~69歳	15	28	23	41	21	12	17
	70~74歳	48	84	89	96	53	51	36
	75~79歳	141	164	236	145	113	103	87
	80~84歳	226	294	457	391	201	166	136
	85~89歳	217	300	492	458	271	269	161
	90歳以上	77	135	291	365	314	325	186

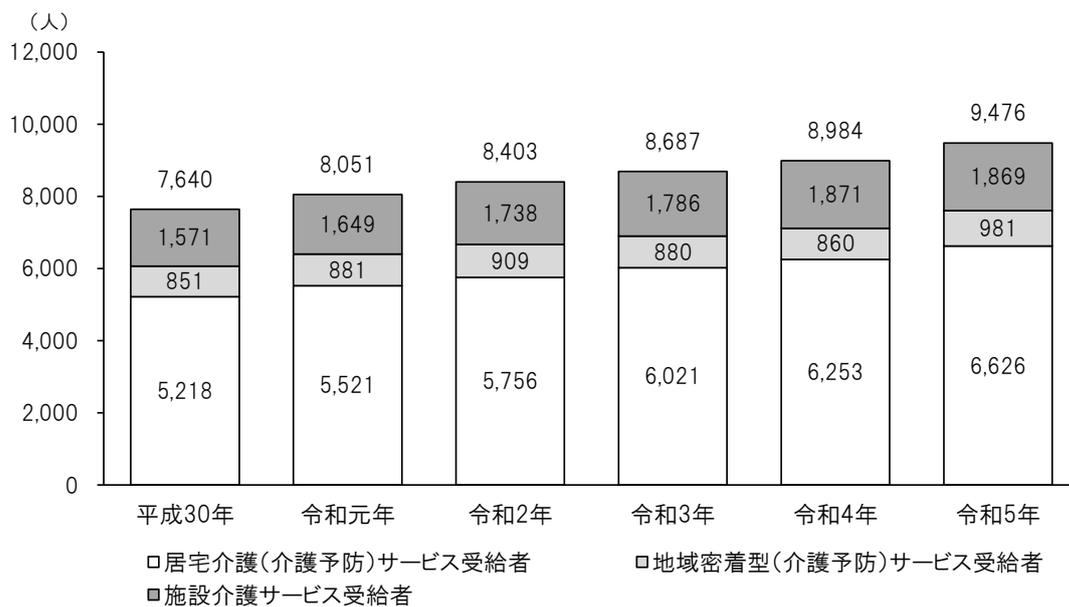
資料:介護保険事業状況報告(令和5年9月末日時点)

## (4) その他

### ①介護保険サービス別受給者

サービス別受給者の推移をみると、令和5（2023）年では、居宅介護（介護予防）サービスが6,626人、地域密着型（介護予防）サービスが981人、施設介護サービスが1,869人となっています。すべてのサービスが増加傾向となっており、平成30（2018）年から令和5（2023）年にかけての伸び率をみると、居宅介護（介護予防）サービスが27.0%と、他のサービスと比較して大きくなっています。

#### ■サービス別受給者の推移（延べ人数）



資料：介護保険事業状況報告（各年9月サービス提供分）

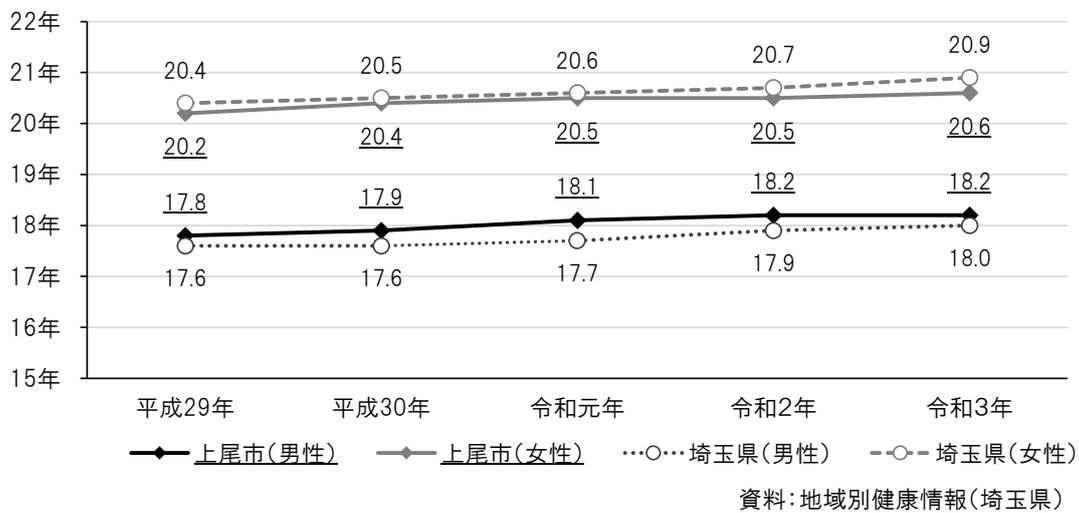
※各サービスを重複して受給した場合は、それぞれで計上しています。

### ②健康寿命

一般的に健康寿命とは、単なる生存ではなく、生活の質（QOL）を考慮し、自立して健康に生きられる期間を指します。埼玉県では、独自の健康寿命として、県内市町村で65歳に達した人が、「要介護2以上」になるまでの平均的な年数を算出しています。

本市の健康寿命は、男女ともに延びており、県平均と同程度で推移しています。男女差は令和3（2021）年で2.4年と、平成29（2017）年から大きな変化はありません。

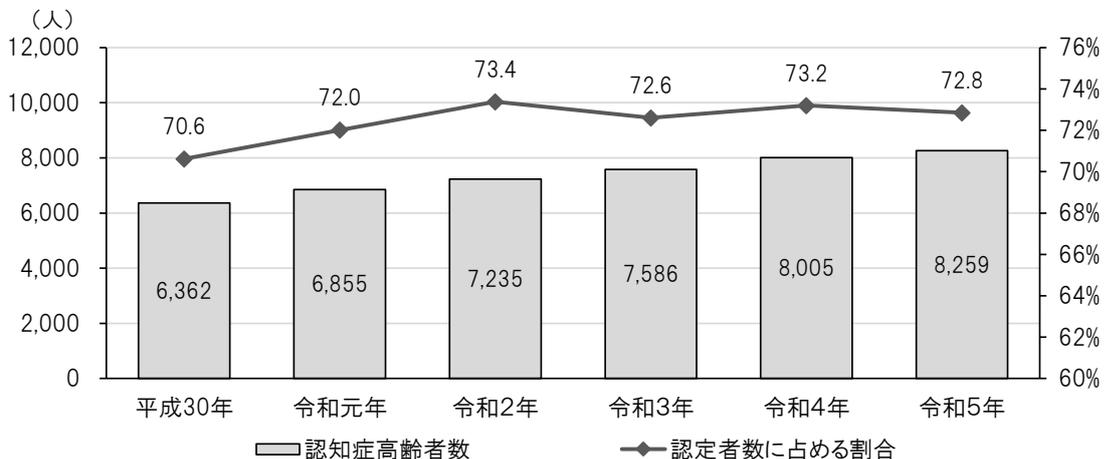
#### ■埼玉県・上尾市の健康寿命の推移



### ③認知症高齢者数

要介護（支援）者のうち「認知症高齢者日常生活自立度」がⅡa以上の人は、令和5（2023）年で8,259人と増加傾向となっており、認定者数に占める割合は70%台で推移しています。

#### ■認知症高齢者数の推移



資料：認知症高齢者数は介護保険システム（各年9月末日時点）  
認定者数は介護保険事業状況報告（各年9月末日時点）

### 3 高齢者実態把握アンケート調査等の結果概要

本計画を策定するにあたり、基礎資料として、高齢者の生活状況や支援サービスの必要性等を把握するとともに、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況を把握するため、市内の高齢者や介護事業所を対象としてアンケート調査を実施しました。以下、調査結果の概要を示します。なお、詳細は別冊「上尾市高齢者実態把握アンケート調査【調査結果報告書】」にまとめています。

#### (1) 地域生活について

##### 相談支援・見守りについて

- 健康や福祉・介護のことで困ったときの相談相手については、一般高齢者、要支援認定者等とともに「家族・親族」が60%以上となっています。
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手については、「そのような人はいない」が一般高齢者で44.7%（前回調査時40.2%）、要支援認定者等で18.2%（前回調査時13.8%）となっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

- 身近に家族・親戚等がない場合や身近な人には打ち明けにくい事情がある場合など、1人で不安や悩みを抱えることがないように、相談窓口の周知や相談支援体制の充実が重要となります。
- 今後、高齢者の増加に伴い、高齢単身世帯や高齢夫婦世帯も増加することが予測されることから、地域を中心とした見守りや支え合いといった支援体制の充実が求められています。

## (2) 生きがいや地域活動について

### ① 生きがいについて

- 趣味の有無については、「思いつかない」が一般高齢者で23.4%（前回調査時21.7%）、要支援認定者等で33.2%（前回調査時32.4%）となっています。
- 生きがいの有無については、「思いつかない」が一般高齢者で38.3%（前回調査時34.5%）、要支援認定者等で48.5%（前回調査時47.0%）となっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→趣味や生きがいを持つことは心身の健康維持や社会的な関係性を持つ意味でも重要となるため、興味・関心を発掘するためのアプローチが必要となります。

### ② 地域活動・ボランティア活動について

- 地域での各種活動（ボランティアのグループ、スポーツ関係のグループやクラブ等）への参加状況については、「参加していない」が一般高齢者、要支援認定者等を含めた全体で58.4%～71.6%となっています。
- 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向については、参加者として「参加したい」が一般高齢者で56.3%（前回調査時58.2%）、要支援認定者等で44.1%（前回調査時46.2%）となっています。企画・運営として「参加したい」が一般高齢者で34.7%（前回調査時38.5%）、要支援認定者等で25.5%（前回調査時24.0%）となっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→参加したい意向はあるが、実際には活動の場に結びついていないという現状が見受けられることから、参加意向を持っている人を参加者や企画・運営する立場（担い手）として、実際の活動へとつなげる取組が必要となります。

### ③ 就業について

- 就労意向については、一般高齢者で「生活のために働きたい」と「生きがいのために働きたい」を合わせた割合が29.6%となっています。
- 働く上で自治体に取り組むべき施策については、一般高齢者、要支援認定者等とともに「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」や「雇用主との仲介支援」の割合が高くなっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→高齢者の就労は、経済的安定だけでなく、心身の健康維持や社会参加の増加につながるため、就労意向のある高齢者を支援する取組が重要となります。

### (3) 介護予防、健康について

#### ① 介護予防について

- 高齢化に対応した取組として必要なことについては、一般高齢者、要支援認定者等では、「要介護状態にならないための『介護予防事業』の普及啓発」がそれぞれ41.0%、34.4%と全体の2、3番目に高くなっています。
- 介護予防の実施状況については、「自主的に介護予防（運動や講座の受講等）を実施している」が一般高齢者で21.0%（前回調査時23.5%）、要支援認定者等で31.7%（前回調査時34.1%）となっており、一般高齢者のほうが割合が低くなっています。
- 実施している介護予防の内容については、一般高齢者では、「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」が37.1%（前回調査時41.4%）で最も高く、要支援認定者等では、「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」が57.9%（前回調査時59.7%）で最も高くなっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」や「いきいきクラブや通いの場（カフェ・サロンやアツピー元気体操）など、身近な地域での自主的な活動」など、多様な介護予防の取組について普及させることが重要となります。

## ② 健康について

○高齢者の健康状態等については、一般高齢者で「健康状態がよい人」が81.1%（前回調査時80.2%）となっている一方で、要支援認定者等では52.4%（前回調査時47.5%）となっています。

要支援認定者等で「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることのある人」が51.5%（前回調査時55.2%）、「物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがある人」が38.5%（前回調査時38.7%）と高くなっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題 -----

→一般高齢者と比べ、要支援認定者等では心身両面で問題を抱えている状況が顕著であることから、要支援・要介護状態とならないためにも、こころとからだの健康づくりが重要となります。

## （4）在宅生活について

### ① 住まいについて

○介護が必要になった場合の住まいの希望については、介護サービスや家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい人が一般高齢者で68.7%（前回調査時68.3%）、要支援認定者等で61.2%（前回調査時61.1%）となっています。

○高齢化に対応した取組として必要なことについては、一般高齢者、要支援認定者等では、「自宅で利用できる在宅サービスの充実」がそれぞれ39.8%、33.2%（前回調査時36.7%、32.5%）となっています。

また、「高齢者向け住宅や介護老人福祉施設などの施設の充実」（30.3%、27.6%（前回調査時31.4%、27.5%））と比較しても、在宅サービスの充実に対するニーズの割合が高くなっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題 -----

→「自宅」での生活が続けられるよう、在宅サービスや在宅介護に対する支援の充実が重要となります。

## ② 移動について

- 運転免許証の保有状況については、免許を持っている人は、一般高齢者で 56.1%（前回調査時 54.3%）、要支援認定者等で 16.6%（前回調査時 17.8%）となっています。
- 運転免許証を返納するにあたり不安に思うことについては、一般高齢者、要支援認定者等を含めた全体で「買い物」が 59.9%、「通院」が 54.0%となっています。
- 高齢化に対応した取組として必要なことについては、一般高齢者、要支援認定者等で「通院や外出時の移動手段の確保」の割合が最も高くなっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題

→高齢者の積極的な外出を促すとともに、適期に免許返納を促すためにも、移動手段の確保や生活支援の充実が必要となります。

## ③ 在宅介護について

- 介護者の年齢については、要介護認定者で 60 歳以上が 55.7%（前回調査時 58.4%）を占めており、70 歳以上では 31.2%（前回調査時 33.8%）となっています。
- 過去 1 年間で家族等の介護のために退職・転職した人の割合については、要介護認定者で「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 7.6%となっています。
- 主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけるかについては、要介護認定者で「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた割合が 73.3%（前回調査時 76.0%）となっています。  
また、「続けていくのは、かなり難しい」と「続けていくのは、やや難しい」を合わせた割合は 16.7%（前回調査時 15.4%）となっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題

→今後、後期高齢者の増加に伴い、介護を必要とする高齢者が増えることから、老老介護の割合も更に増加することが見込まれるため、介護者支援や在宅で生活をする上でのサービスの充実が重要となります。  
→数値としては低いものの一定数の人が介護を理由に離職しているとともに、就労の継続が難しいと感じていることから、「介護離職ゼロ」の実現に向け、介護者の負担軽減に向けた支援体制の充実が必要となります。

#### ④ 新型コロナウイルス等の感染症対策について

- 新型コロナウイルスが感染拡大したことによって、日常生活で困ったことについては、「自宅にすることが多く、体が弱ってしまった」は一般高齢者で25.4%、要支援認定者等で37.8%、要介護認定者で27.7%と高い割合になっています。
- 新型コロナウイルスの感染拡大の影響がサービス利用に与える変化については、要介護認定者で変化が「あった」が22.5%、利用を控えたサービスは「通所型サービス」が68.4%と最も高くなっています。

##### --- アンケート調査結果から見えた課題

→新型コロナウイルスや今後発生しうる感染症等の影響により、虚弱のリスクが高まっているほか、必要なサービスの利用が止まるといったことが考えられるため、平時からの備えとして、在宅生活を支える仕組みづくりや外出を促進する上での対策、安心してサービスを利用できる環境づくりなどが求められています。

#### (5) 認知症について

##### 認知症対策について

- 現在の生活を継続していくにあたって、介護者が不安に感じる介護等については、要介護認定者で「認知症状への対応」が27.5%（前回調査時27.3%）と高くなっています。
- 各取組の認知度について、一般高齢者、要支援認定者等では、「認知症に関する相談窓口」や「認知症サポーター」「成年後見制度」の認知度は低くなっています。
- 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために必要なことについて、一般高齢者、要支援認定者等では、「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」の割合が上位となっています。

##### --- アンケート調査結果から見えた課題

→今後、高齢者の増加に伴い、認知症高齢者の増加が予測されることから、各取組の周知を図るとともに、認知症高齢者及び介護する家族等への支援が重要となります。

## (6) 権利擁護について

### 成年後見制度について

- 成年後見制度の認知度について、一般高齢者、要支援認定者等では、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」と「知らない」の合計が60%以上となっています。また、要介護認定者では、「知っているが利用したことはない」が52.8%(前回調査時56.5%)、「知らない」が27.5%(前回調査時25.2%)となっています。
- 市の成年後見制度施策に望むことについて、一般高齢者、要支援認定者等では、「成年後見制度に関する普及・啓発」「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」が上位となっており、事業所全体でも同様の項目の割合が高くなっています。
- 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因については、事業所全体で、「成年後見制度の手続きが複雑だから」が40.9%で最も高くなっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→今後、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者等の増加が見込まれる中で、誰もが地域において尊厳のある生活を維持していけるよう、判断能力が不十分な高齢者に対する成年後見制度の普及を図るとともに、制度利用に向けた支援が必要となります。

## (7) 介護保険全般について

### ① 介護サービスの利用状況について

- 介護保険制度や高齢者福祉制度の内容やサービスについて、相談しやすいところについては、要介護認定者で「ケアマネジャー」が67.2%(前回調査時70.2%)と最も高く、次いで「地域包括支援センター」「かかりつけ医」「市役所の窓口」となっています。
- ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員の満足度については、要介護認定者で「満足している」が76.2%(前回調査時77.6%)となっています。
- ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員に満足していない点については、要介護認定者で「相談時間や訪問回数などが少ない」「知識や情報量が少ない」「現状維持や改善に向けたケアプランになっていない」「十分な説明をしてもらえない」の割合が高くなっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 ---

→要介護(支援)者の状態に応じた適切な説明や情報提供が必要となります。

## ② 介護サービスの提供について

- 希望どおりには利用できていないサービスについては、要介護認定者で「通所介護」「短期入所生活介護」「通所リハビリテーション」「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が高くなっています。
- 提供を受けているサービスについて不満に思われる点については、要介護認定者で「希望どおりのサービスを受けられない」「サービス内容が不十分である」の割合が高くなっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題 -----

→よりよいサービス提供を推進する上で、不満点の改善が必要となります。

## ③ 介護サービスの提供体制について

- 事業所としての需要（利用希望者）と供給（提供できるサービス量）のバランスについては、居宅介護支援事業所、施設・居住系サービスでは「需要が供給をやや上回る」の割合が最も高く、在宅サービスでは「需要と供給が均衡」「需要が供給をやや下回る」の割合が最も高くなっています。
- 昨年1年間にサービスの利用希望者を断った経験については、在宅サービスでは「お断りしたことはない」の割合が高くなっているのに対し、居宅介護支援事業所では「定員がいっぱいだったのでお断りした」が76.5%と高くなっています。

### --- アンケート調査結果から見えた課題 -----

→サービス種別によっても状況は異なるが、今後もニーズに応じた提供体制の整備を検討していくことが必要となります。

#### ④ 介護人材について

- 事業所における介護人材の状況については、事業所全体で特に「介護職員」「看護職員」が不足しており、その理由としては「採用が困難」が80%以上となっています。
- 今後の外国人人材の活用については、事業所全体で「活用予定」と「活用を検討している」を合わせた割合は38.8%、「関心はあるが検討はしていない」は28.6%となっています。
- 元気高齢者（アクティブシニア）の就労支援に関する取組状況については、事業所全体で「すでに取り組んでいる」が44.9%、「取組を検討している」が4.1%、「関心はあるが検討はしていない」は30.6%となっています。

#### --- アンケート調査結果から見えた課題 -----

→介護を必要とする高齢者が増えるなか、介護人材不足が課題となるため、外国人人材やアクティブシニアの雇用など、介護人材の確保に向けた取組の推進が重要となります。

## 4 第8期計画の進捗状況と課題

第8期計画では、基本理念である「高齢者が輝き続けるまち あげお」を達成するため、3つの基本目標を掲げ、地域包括ケア体制の整備や社会参加の推進、健康寿命の延伸について、各施策を展開し推進を図ってきました。

本計画を策定する上で、第8期計画の進捗状況を評価し、本計画に反映すべき課題の整理を行いました。

### 基本目標1 安心・安全 ～地域包括ケア体制の整備～

基本目標1では、35件の取組があり、そのうち、16件が「計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している」、18件が「概ね計画通りに推移している」、1件が「計画よりやや遅れが生じている」と評価されています。

「計画よりやや遅れが生じている」と評価された取組は、『ケアマネジャーの研修等』で、スキルアップを目的としたケアプラン点検を実施していますが、点検方法の見直しを図るなどして、適切なケアマネジメントに向けた取組の推進が課題となっています。

施策名	取組数	進捗評価				
		A	B	C	D	E
(1)相談体制の充実	4	1	3			
(2)生活支援の充実	5	2	3			
(3)見守り体制の充実	7	2	5			
(4)住まい・移動(外出)の支援	5	2	3			
(5)在宅医療・介護連携の推進	3	2	1			
(6)成年後見制度の利用促進	4	4				
(7)人材の確保・育成	5	2	2	1		
(8)災害や感染症対策の体制整備	2	1	1			
計	35	16	18	1		

#### ■事業進捗評価

- A：計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している  
 B：概ね計画通りに推移している  
 C：計画よりやや遅れが生じている  
 D：計画より遅れが生じている  
 E：未実施

## 基本目標2 生きがい ～社会参加の推進～

基本目標2では、18件の取組があり、そのうち、7件が「計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している」、10件が「概ね計画通りに推移している」、1件が「計画よりやや遅れが生じている」と評価されています。

「計画よりやや遅れが生じている」と評価された取組は、『上尾市まなびすと指導者バンクの運営』で、生涯学習推進のため、さまざまな人に指導者になってもらうことを目的とした取組ですが、登録者数が減少傾向にあることから、周知方法を見直すなどして、高齢者の活動の場を確保することが課題となっています。

施策名	取組数	進捗評価				
		A	B	C	D	E
(1)スポーツ・レクリエーション活動等の支援	5	2	3			
(2)生涯学習の推進	3	1	1	1		
(3)地域活動・ボランティア活動の推進	5	2	3			
(4)就業の支援	2		2			
(5)多世代交流の推進	3	2	1			
計	18	7	10	1		

### ■事業進捗評価

- A：計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している    B：概ね計画通りに推移している  
 C：計画よりやや遅れが生じている    D：計画より遅れが生じている  
 E：未実施

### 基本目標3 健康 ～健康寿命の延伸～

基本目標3では、22件の取組があり、そのうち、10件が「計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している」、11件が「概ね計画通りに推移している」、1件が「計画よりやや遅れが生じている」と評価されています。

「計画よりやや遅れが生じている」と評価された取組は、『からだの健康』で、壮年期からのからだの健康づくりを推進するため、効果的な方法やプログラムを検討し取り組んでいますが、参加者を増加させるため、取組の周知や健康づくりへの関心を高めることが課題となっています。

施策名	取組数	進捗評価				
		A	B	C	D	E
(1)認知症施策の推進	7	4	3			
(2)介護予防の推進	5	3	2			
(3)健康づくりの推進	6	3	2	1		
(4)生活習慣病予防・特定健診の推進	4		4			
計	22	10	11	1		

■事業進捗評価

- A：計画通り（またはほぼ計画通り）に順調に推移している    B：概ね計画通りに推移している  
 C：計画よりやや遅れが生じている    D：計画より遅れが生じている  
 E：未実施

## 5 課題のまとめ

本計画の施策の体系を立案するにあたり、本市の現状やアンケート調査結果、第8期計画の進捗状況からみえた課題を整理することで、本計画で求められていることを検討しました。

### <課題1> 地域生活に関すること

- 1人で不安や悩みを抱えることがないように、相談窓口の周知や相談支援体制の充実
- 地域を中心とした見守りや支え合いといった支援体制の充実

#### ■第9期計画で求められること

**地域ネットワークの強化**

### <課題2> 生きがいや地域活動に関すること

- 趣味や生きがいにつながる興味・関心を発掘するためのアプローチ
- 地域活動への参加意向を持っている人を実際の活動へとつなげる取組
- 就労意向のある高齢者を支援する取組
- 高齢者の活動の場の確保

#### ■第9期計画で求められること

**生きがいの創出**

<課題3> 介護予防、健康づくりに関すること 

- 多様な介護予防の取組の普及
- 要支援・要介護状態とならないための、こころとからだの健康づくり
- 健康づくりへの関心を高める取組

■第9期計画で求められること

介護予防の推進

<課題4> 在宅生活に関すること 

- 在宅サービスや介護者支援の充実
- 移動手段の確保や生活支援の充実
- 災害や感染症発生時においても安心してサービスを利用できる環境の整備

■第9期計画で求められること

在宅生活支援の充実

<課題5> 認知症に関すること 

- 認知症高齢者の増加に備えた各取組の周知
- 認知症高齢者及び介護をする家族等への支援

■第9期計画で求められること

認知症との共生・予防

**<課題6> 権利擁護に関すること**

- 判断能力が不十分な高齢者に対する成年後見制度の普及
- 成年後見制度の利用支援の充実

**■第9期計画で求められること****権利擁護の推進****<課題7> 介護保険全般に関すること**

- 適切なケアマネジメントに向けた取組の推進
- 要介護（支援）者の状態に応じた適切な説明や情報提供
- ニーズに応じたサービス提供体制の充実
- 介護人材の確保に向けた取組の推進

**■第9期計画で求められること****介護保険制度の適正運営**